

合言葉：「 思いやりをもって、 未来へチャレンジ 」

令和5年度 久留米市立大城小学校だより



ますかげ

令和5年8月25日 文責：校長 森 勝之

2学期スタート



2学期の開始です。大城っ子たちは元気に登校してきました。

久しぶりに会った大城っ子が、体も少し大きくなり、たくましく見えました。

2学期は、勉強や運動にとっても良い季節になります。運動会や学習文化発表会が控える1番長い学期です。大城っ子が1日1日充実した学校生活を送れるよう、職員一同心がけていきますので、何かありましたら、ぜひご連絡下さい。



一つの言葉

7月は「福岡県同和問題啓発強調月間」でした。誰もが、同和問題をはじめ、差別のない社会で安心して生活できるように願っています。これを機に、大城小学校でも、子ども1人ひとりが大切にされ、いじめのない学校づくりに努めていくことの重みを、私自身、再認識しているところです。

一つの言葉 北原白秋
一つの言葉でけんかして
一つの言葉でなかなおり
一つの言葉で頭が下がり
一つの言葉で心が痛む
一つの言葉で楽しく笑い
一つの言葉で泣かされる
一つの言葉はそれそれ
一つの心を持って
きれいな言葉はきれいな心
やさしい言葉はやさしい心
一つの言葉を大切に
一つの言葉も美しく

「言霊」という言葉があります。言葉に宿る霊の意味です。古代の日本人は、言葉に霊が宿っていて、その霊力がはたらき、言葉にして発すると、そのことが実現すると考えていたといひます。よい言葉を発するとよい事が起こり、不吉な言葉を発すると凶事が起こるとされていたようです。だから、美しい言葉を探して使うことが、日本人に根付いていったのではないかと思います。

そこで、1学期の終業式では、北原白秋の詩「1つの言葉」を取り上げました。たった1言が、相手を大きく傷つける場合もあれば、全面的に相手を勇気づける場合もあります。そこで、大城っ子には、「相手に発する言葉にはその人の心が反映されているのだから、言葉は大切に、美しくあるべきだ」と伝えました。

「人を攻撃する言葉や冷たい言葉は何も生み出さず、自分の身の周りを破壊し、周りを凍らせていく」となることを、学校や家庭の場で共有して指導していきたいと思ひます。なにとぞ、ご理解とご協力お願ひします。

行事で成長、大城っ子

どの学校でも、行事の練習前に、職員にも、子どもたちにも、必ず伝えているキーワードが2つあります。特に、運動会においては、



「勝負に負けても、態度で負けるな」

… 勝負は時の運でもあります。「最後まであきらめない態度」や「敵味方なく頑張ってきた相手を讃え合う気持ち」、そんな姿が見られることで、人との信頼関係が築かれるものです。

「いつも本番のつもりで練習」

… 「練習は練習、本番は本番」との考えではなく、「練習の過程で成長する」ことの方が大切です。本番同様に練習時間を大切に、「どんな時も全力で取り組む」結果、本番が上手くいくのです。

表現・競技・応援…のどの練習風景でも、大城っ子には2つの言葉を浸透させたいと思います。そして、練習の積み重ねと本番での成功とを関連づけながら実行させることで、すべての学校行事を成功させたいものです。



心に染みる一言



聞くということは

相手の存在を大切にすること

聞くということは

相手を理解すること

東井義雄

～私たち大人もなかなか子どもの話を最後まで聞くことは難しいものですが、

常に心掛けておきたいものですね～

【8月・9月の主な行事予定】

月	日	曜日	主 な 行 事
8	25	金	2学期 始業式
	30	水	学団会
	31	木	学習参観 親子で学ぶ規範意識教室(3年) 学級懇談会
9	1	金	全校一斉下校(14:55)
	2	土	理科作品展【久留米市美術館】 (~3日(日))
	5	火	代表委員会
	9	土	子ども土曜塾
	12	火	児童朝会
	14	木	結団式
	15	金	全校一斉下校(14:55)
	18	月	敬老の日
	23	土	秋分の日
	29	金	運動会準備 インターンシップ実習生来校 (~10/13)
	30	土	運動会(午前実施)簡易給食有
10	2	月	振替休日

